

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成20年1月24日(2008.1.24)

【公表番号】特表2007-525465(P2007-525465A)

【公表日】平成19年9月6日(2007.9.6)

【年通号数】公開・登録公報2007-034

【出願番号】特願2006-514911(P2006-514911)

【国際特許分類】

A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 P	11/00	(2006.01)
A 6 1 P	31/14	(2006.01)
A 6 1 P	29/00	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
A 6 1 K	39/395	(2006.01)
A 6 1 K	31/7088	(2006.01)
A 6 1 K	48/00	(2006.01)
A 6 1 K	45/06	(2006.01)
G 0 1 N	33/50	(2006.01)
G 0 1 N	33/15	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	45/00	
A 6 1 P	11/00	
A 6 1 P	31/14	
A 6 1 P	29/00	
A 6 1 P	43/00	1 1 1
A 6 1 P	43/00	1 0 5
A 6 1 K	39/395	D
A 6 1 K	39/395	N
A 6 1 K	31/7088	
A 6 1 K	48/00	
A 6 1 K	45/06	
G 0 1 N	33/50	Z
G 0 1 N	33/15	Z

【手続補正書】

【提出日】平成19年11月28日(2007.11.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 8 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 8 0】

[082] 上記に述べた特異的な反応は、抗原が、高選択性にその対応する抗体と反応し、そして他の抗原によって惹起されることが可能な多数の他の抗体とは反応しないであろうことを示すことになる。本発明の抗TNF抗体の抗体、断片および領域と結合する好ましい抗原には、hTNF-αのアミノ酸残基87～108、あるいは残基59～80および8～108の両方、のうち少なくとも一つを含む、少なくとも5アミノ酸が含まれる。本発明の抗TNF抗体の抗体、断片および領域と結合する好ましい抗原は、hTNF-αのアミノ酸11～13、37～42、49～57または155～157のアミノ酸を含ま

ない。